

平成29年6月15日  
都市局公園緑地部動物公園  
電話252-7566

千葉市政担当記者 様

## フタユビナマケモノの赤ちゃんが生まれました！

千葉市動物公園では、5月30日にフタユビナマケモノが子どもを出産しましたので、お知らせします。

今回出産した母親は、実に25年ぶりの出産となりましたが、出産後の子の状態も安定し、順調に生育しています。

### 1 繁殖日

平成29年5月30日（火）

### 2 子どもの頭数

1頭（性別はまだわかりません）

### 3 両親

父親 1993年8月20日来園

母親 1991年3月4日来園

### 4 母子の様子

母親が高齢のため、哺乳が正常に行えるか心配しましたが、母子ともに元気で、母親の腹部にしがみついている子の様子を見ることができます。



## 5 観覧、展示状況

- ・現在、動物科学館バードホールで放し飼いになっています。
- ・母子が、植栽の中に隠れたりしている時間が長く、十分にご覧いただけない時間のほうが多いです。
- ・動物科学館1階の大型モニターに、母子の食事風景を収録した映像を6月16日（金）から放映します。

## 6 現在の飼育状況

雄1頭 雌2頭 性別不詳1頭 計4頭 飼育中（今回誕生した子供を含む）

## 7 国内飼育頭数（平成28年12月31日現在、日本動物園水族館協会資料）

18園館：雄20頭、雌18頭、性別不明7頭、計45頭

### 【参考】

フタユビナマケモノ（異節上目有毛目フタユビナマケモノ科）

体長：約65cm

体重：約6kg

生息地：南アメリカ北中部（コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ、エクアドル、ペルー、ブラジル北部）

昼行性。湿潤で温暖な熱帯低地から、標高約2400mまでの十分に密生した森林に生息します。単独性で、木の葉や果実などを採食します。